

感染症情報 9月11日～17日

府下小児科200療機関(堺市19)から

①RSウイルス感染症	746例(堺市	48例)
②感染性胃腸炎	683例(堺市	35例)
③溶連菌感染症	308例(堺市	22例)
④手足口病	232例(堺市	26例)
⑤ヘルパンギーナ	106例(堺市	4例)

府下インフルエンザ定点307医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	34例(堺市	0例)
---------	--------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週とほぼ同数の2,384件であった。前週に引き続きRSウイルス感染症が第1位で以下、感染性胃腸炎、溶連菌感染症、手足口病、ヘルパンギーナの順であった。

RSウイルス感染症は府下で前週比2%増、堺市で前週比13%減であった。定点当たりで見ると、前週が3.6で、今回は3.7であった。2位の感染性胃腸炎は府下で前週比9%増、堺市は35%増であった。溶連菌感染症は府下で前週比4%減、堺市で18例→今回22例であった。当科周囲で依然多い。手足口病は府下で前週比15%減、堺市で前週16例→今回26例で再び増加した。ヘルパンギーナは府下で前週比14%減、堺市では前週6例→今回4例となった。

インフルエンザは府下で前週33例→今回34例であった。堺市では前週1例あって、今回0であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。